

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市文化財保護委員会		
開催日時	令和3年1月19日(火) 午前9時00分から午前9時30分まで		
開催場所	みよし市役所6階 601・602会議室		
出席者	<p>【委員】 岡本洋子委員長、原田重助委員、鈴木睦子委員、酒井孝芳委員</p> <p>今瀬良江教育長、深津弘樹部長、岡田高行次長</p> <p>【事務局】 林資料館長、塚本資料館副主幹、嘉見資料館主任査、平井主任査主査</p>		
次回開催予定日	-		
問合せ先	<p>教育部教育行政課 資料館 電話 0561-34-5000 メール shiryoukan@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	-
審議経過	別紙のとおり		

会 議 録

会議名	第2回みよし市文化財保護委員会	記載者	教育行政課 資料館 平井 義敏
期 日	令和3年1月19日（火）	場 所	みよし市役所 6階 601・602会議室
	午前 9時00分～ 9時30分		
出席者	文化財保護委員		教育長 今瀬 良江
	委員長	岡本 洋子	部長 深津 弘樹
	職務代理者	原田 重助	次長 岡田 高行
	委員	鈴木 睦子	事務局 館長 林 久義
	委員	酒井 孝芳	副主幹 塚本 弥寿人
	委員		主任主査 嘉見 俊宏
	委員		主任主査 平井 義敏
傍聴者	0名		
内 容			

午前 9時00分

< 典礼 >

只今から令和2年度第2回みよし市文化財保護委員会を開会します。

文化財保護委員会の会議はみよし市付属機関の設置および運営に関する要綱に基づき、個人情報に関する事案の審議以外は、公開することになっております。開会にあたり本来であれば、教育長から御挨拶申し上げるべきところではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言が発出されている現状を踏まえ、会議時間短縮のため割愛させていただきます。また、同様の趣旨から委員長からの御挨拶も割愛させていただきますのでご了承ください。委員の皆様におかれましては、会議時間短縮にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日の議題は福谷公園内における福谷城跡の整備についてです。福谷公園の整備計画策定に伴うワークショップにおいて、住民の方々の意見も凡そまとまりました。福谷城跡について9月に開催しました第1回の保護委員会におきまして史跡として、指定整備していくことを検討する方向で、意見を頂きましたのでその観点から公園区域内の福谷城跡について、ワークショップの案を確認して頂きたいと思っております。この会議で出た意見については、公園整備担当部局に伝え次回のワークショップ最終回へ反映してもらう予定です。なお資料の図面に関しましてはワークショップ前ということもあり、取扱いに御留意頂きたく存じます。それではこれより会議のとりまわしは岡本委員長にお願いいたします。

< 岡本委員長 >

はい失礼します。本日は赤羽委員および服部委員が欠席ですが、会議はみよし市文化財保護条例第11条第2項の規定に基づき成立しています。当委員会の会議はみよし市付属機関

の設置及び運営に関する要綱に基づき、会議を公開いたします。議事に入る前に当委員会の会議録の署名者は委員長が行うこととしてよろしいでしょうか。

<全委員>

異議なし

<岡本委員長>

異議なしと認めます。これより協議に入りますが、冒頭に事務局より説明がありました通り新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発出中につき説明および発言はできるだけ簡潔にお願い致します。それでは議題、福谷公園内における福谷城跡の整備について事務局から説明をお願い致します。

<事務局>

説明させていただきます。公園緑地課主催で市民参加の福谷公園基本構想についてワークショップが10月から3回行なわれました。その中で、市民の方々からいろいろな意見が出ましたので、その意見について説明させて頂きたいと思えます。歴史案内館として福谷城の模型などの展示物を展示し、だれもが福谷城の歴史に触れることが出来ると良い、ということが1番としてあげられております。これは来ただけでは分かりにくいので、説明のような分かりやすいものがほしいということです。

2番、城跡エリアの堀に沿って園路を作れないかということです。これは堀に沿って園路を作ってほしい、また城の中を細かく散策して様々な所をみられるようにしてほしいということです。

次ぎ3番、解説サインなどの整備。QRコードやVR等と連動。これは福谷城の史跡を散策する中で解説看板を設置し、説明や最近使われているスマホ等でQRコードやVRでいろんなことがみられるようにしてほしいという要望です。

4番。公園との自由なつながり、公園内と城跡をつなぐ通路がほしいという要望です。単に史跡区域として保護しても、アクセスが難しいようでは公園に来た人が史跡に入っていくことができないので、できるだけ自由に公園区域と史跡区域を行き来できるようにしてほしいということです。

5番。空堀や土塁など地形を良い状態で保存するための張芝です。これは全体を散策するにあたって、地面がでている部分や雑木など切株などが出ているところの整備をして、芝などを張れないかという要望です。

6番。入口階段の改修です。これは既設階段をもう少し綺麗に整備したいという要望です。

7番。間伐です。福谷城はお城であるので急な斜面になっており樹木を伐採しすぎると土砂崩れなどが起こる可能性もありますが留意して、伐採することはできます。今うっそうと茂っていて周りが見えないが、戦国時代にはどこから敵が来ているか見渡せるように伐採されていたと考えられます。このことはワークショップのときに我々も出席し、参加者へ戦国

時代の福谷城の状態を説明させていただきました。樹木をある程度伐採して当時と同じように、境川や平野の方を見渡せるような眺望を確保したいという意見です。

次に公園区域内だけの希望ではなく、もうちょっと大きな視点での要望もありました。これは教育委員会へのアイデア提言ということでまとめられています。

I 郭での福谷城の再現。当時の様子を何かで再現してほしいということです。次に、空堀の再現。空堀は今ある程度埋まっておりますので、当時の状態を見られるように、体で感じることが出来るようにすることはできないかといった要望で、それが空堀を再現してほしいという要望になりました。I 郭以外も史跡公園として、もっと広く散策して歴史を広く感じることが出来るようにしてほしいという要望です。II 郭の公園区域への編入という言葉で表現されております。

福谷城の簡易的な復元。当時建っていた家屋などを復元してほしいというようなことです。ワークショップの時に再三、土を掘って基礎を入れて建物を建てることは難しいという説明をしましたので、参加者からダンボール等基礎を用いない簡易的な方法で、福谷城の復元をしてほしいという要望になっております。

猿投窯とのつながりも紹介できると良いという要望です。公園の北側に黒笹27号窯という史跡がありますので、福谷公園に来て福谷城を散策した後、さらにその周りにある史跡の情報も入れてほしい。案内のほか、27号は整備されてから30年が経っており、覆屋も傷んでいるのでそちらも整備してほしいという要望です。以上がワークショップからの意見であります。

赤羽委員から1月17日付で意見を頂いております。史跡保護区域というのは何か条例とか規制とそういうものではなく、これは現地で歩いて遺構が明らかに残っている部分ということで区域を決めています。

公園整備を進めていくうえで公園緑地課と対等な立場でしっかり整備計画、管理計画の立案にかかわることというような意見がありまして、これは今後われわれもしっかり意見を公園緑地課に述べさせていただきまして、共同で図面の史跡エリアを整備していきたいと考えております。また公園区域外もあわせて福谷城史跡公園として整備していきたいと考えており、その過程では公園緑地課と打合せをしながら進めていきます。

<岡本委員長>

説明が終了しました。本委員会で議論するのは福谷公園内の城跡部分のみとなっております。しかしながら、公園範囲外のII 郭部分は史跡としてI 郭と一体ですので、公園担当部局に伝えることがあればそちらに関してもご意見をお願いします。

<鈴木委員>

先ほどもお話があったように、黒笹27号窯跡に関しても歩けるスペースもあるので、全体的につながりがあると良いと思います。

<酒井委員>

公園整備すると、いろいろな方に来てもらえるのは良いのだが、かえって史跡を壊してしまうという部分もある。小牧城は昔のお城ではなく鉄筋コンクリートである。30年40年前にやってきたこととは違って、足助城は比較的史実によって柱の穴などに基づいて昔の砦とはこういうものだろうということで再現がされているが、史跡を残して復元することが大事ではないか。三好丘等宅地開発によって出来た区域に住む人達にもみよし市の史実に基づく史跡を見てもらい、自分達が住んでいた場所もかつてはそのような文化遺産がたくさんあったということを知ってもらいと良い。

スポーツ広場だとかウォーキングコースだとか、現状をうまく利用して作っていただきたい。三好池のまわりにも人がたくさん歩いているが、歴史の道なり福谷城だけでなく、福田にあるような旧道の枡形や常夜灯なども含めて、ウォーキングのコースを作っていくとみんなが歩いていってくれるようになる。ちょうど僕が生涯学習課の時に、黒笹27号窯から福谷城まで歩いたこともある。農道などを利用すればコースが作れる。そういった努力をして、みなさんにそこを知ってもらえるような努力、その付随施設は大事ではないか。いかに壊さないようにするかは、地域の皆さんに協力して頂いて、畑の横を通る道を通してもらうなど、そういうことが大事かなと思う。前にも言ったが、福谷城は歴史の文献に出てくる、みよしでは数少ない場所でもあるから、史実と違うような公園にしてしまっただけではいけない。かといって地域が使えるようなものを出さなければ地域も協力してくれないだろうから、その辺の折り合いが大事かなと思う。

<原田委員>

みなさん車で来ると思うのですが、駐車場はこの臨時駐車場以外にありますか。

<事務局>

北の方にも駐車場を作る予定とのことでした。

<原田委員>

そうすると、史跡とは離れたところに駐車場が出来るのですね。

<事務局>

そうです。史跡エリアとは離れております。

<原田委員>

公園の名前は、福谷公園になるのですか。

<事務局>

現時点では、福谷公園という名前で進められております。

<原田委員>

福谷城跡公園といった名前が付けば、お城あったんだということがよく分かるのだが、ただ福谷公園だけだと普通の公園だと思って来られると思う。ここにお城があるということ

が、駐車場に来た時に分かるようにした方が良いのではないか。こういうことはきっちり守って下さいよといった注意事項を含めて、駐車場から公園に入るにあたって見えるようなところに説明があった方が良いのではないかと思う。

それと伐採をされるということですが、東側の木がある程度伐採されて自由に森の方へ入っていけるようになってくると、ここは崖になっているので、人が落ちてしまう可能性もある。その辺の対策が必要になってくるのではないかなと思う。

<岡本委員長>

遺跡を残すこと、市民を大事にするために、本当にご苦勞がたくさんあるということを改めて感じます。でもみよしに福谷城というものがあることに對して、本当に良いスタートができたなとうれしく思っております。子供達にも市民の方たちにも、福谷城についてもっともっとみなさんが知識を増やしていただければありがたいと思います。

ワークショップで多くの意見が出ているのですが、今後何から手を付けていかれるのでしょうか。

<事務局>

そちらに関しては公園緑地課が担当部局ということになるのですが、ワークショップで頂いた住民の意見をもとにして、基本的な設計を作っていく段階です。

<岡本委員長>

市民へのアピールについては、今後の計画について広報課か何かで随時報告があるのでしょうか。

<事務局>

公園担当からワークショップの結果が出ましたよという公表があるかとは思いますが、その方法などはまだわかりません。

<岡本委員長>

ありがとうございました。他にはどうですか。

<教育長>

教育委員会としては、史跡を預かる者として譲れないものがあると思います。先ほど酒井委員からご意見いただいたように、事実を曲げるような残し方はいかかなものかということ。それから、みなさんに知っていただくような工夫が必要であるということ。駐車場に地図や看板や説明を置くことが必要だと思います。それから福谷城を建てるという意見がありますが、あくまでも事実即して考えていくべきと考えます。またⅡ郭の方が重要だということの前からいただいているので、いずれはここも組み入れたいと教育委員会として主張していきたいと思っています。あとは将来的にいろいろな貴重な史跡を結ぶような展開ができる方向性を持つべきだということをご意見の中でもいただいたので、教育委員会としてお願いしたいと思っています。

あとQRなど工夫してのみなさんへの啓発とかお知らせをしていく。準備には何年かかかっていくようです。ワークショップのあと、実際の基本構想、設計、実施設計それから用地買収、工事と何年かかる流れです。城山保育園の移転計画があるのですが、移転先が決まっていない状況です。

それからこの間の文化財保護委員会でもご指摘いただいた史跡指定についても、進めていきたいと思っております。

<酒井委員>

ほかの将来的な展望、三好公園もそうなんだけれども最低5年10年先を見据えて、どうゆう風に将来を像作って積み上げていくかっていうのは、最近ない。II郭も含めて、将来的には史跡の公園にしていくためにどうやっていくかというのが僕は文化財保護委員会の一番の方向ではないかと思う。

無理にではなくて、城山保育園もあるのは重々承知だし、少しずつやって、相続などのきっかけで、市が買い取るとか、そういう方向性をもって、ある程度その土地については将来的に史跡にして保護していくという方向性で、市が優先して買い上げるとかそういう形が望ましいのではないかと思う。福田もそうですけど相続すると宅地売って4軒5軒建ってくる現状である。ぜひ委員会の意見として、あげておいていただきたい。

<事務局>

多くの意見を出していただきました。福谷城という文化遺産を破壊することなく史実に沿った形で広く市民に知っていただき活用してもらうことは、共通した意見であったと思います。そうしますと、ワークショップで作成された図面にある階段とスロープは、遺跡に対する影響を詳細に検討する必要がありますので、この絵の通りには行かないかもしれません。しかし福谷公園は、福谷城跡部分よりも北に広がるスポーツ広場・遊具広場・アスレチック・散策路が大部分を占めています。現時点では南の6番出入り口しかありませんが、そちらにきた方々が、福谷城跡にも入っていきやすいように、北側方面から入ってこられる道を考えるという方向で進めることを意見4への対応にします。そうした上で、1～7番の史跡保護区域への意見と教育委員会へのアイデア提言について、合意してよろしいでしょうか。

<岡本委員長>

みなさんどうですか。

<酒井委員>

木を切るなという団体もあるが、ただ戦国時代にはほとんど木はなかった。設楽ヶ原にも全然木はない、草刈り場です。だから家康の所から鉄砲が撃てる。木が生えたのは戦後。草刈り場の方が価値が高いから、草刈り場として山を残しておく、と研究者がよく言っている。ある程度みえるようにするというのは、しっかりやってもらいたい。やたらに生えている方

が今は危ない。戦国時代の面影もある程度残して、城の価値として見渡せる範囲で伐採するということをきちっと説明しないとイケない。

<事務局>

三好町誌別編にも載っていますが、福谷城付近にしか生えていない木も何本かあるようなので、その辺を保全しながら、細かい対応をしていきたいと考えております。貴重なものがあるのであれば、それはしっかり保全していきます。

<酒井委員>

専門家に頼むのか。

<事務局>

はい、専門家に頼みます。

<酒井委員>

木を切る専門家がいる。手伝ってもいいけど。

<岡本委員長>

では合意ということでよろしいでしょうか。

<全委員>

はい。

<岡本委員長>

福谷城について、ぜひ資料館でも何かアピールできる部分を作っていただきたい。ありとあらゆる方法を使って市民に訴えたいなと思っております。資料館の活用等も考えていただければいいなと思っております。

ただ今、各委員よりでた意見を公園担当部局伝えてもらいたいと思います。

本日予定されました議事は全て終了いたしました。これで令和2年度第2回みよし市文化財保護委員会を閉会といたします。

<事務局>

ありがとうございました。会議時間短縮のための円滑な会議運営にご協力賜り誠にありがとうございました。

午前9時30分